

飯田自然エネルギー大学のご案内

1、大学趣旨

飯田自然エネルギー大学は、2004年から自然エネルギー（再生可能エネルギー）事業に取り組むおひさま進歩エネルギー株式会社（長野県飯田市）が2016年に開校しました。

太陽光や小水力発電、バイオマスなど、住民や地域事業者が主体となる地域主導型自然エネルギー事業に取り組む人や、新電力など地域のエネルギーマネジメントに携わる人を育成します。

カリキュラムを通じて、自然エネルギー事業に必要な幅広い専門知識と事業推進力を身につけ、全国各地で自然エネルギーによる持続可能な地域づくりが進むことを目指しています。

2、実施内容

(1) カリキュラム

監修：諸富徹教授（京都大学大学院地球環境学堂/経済学研究科）※本大学学長

おひさま進歩エネルギー株式会社

自然エネルギー事業を通じて地域の中で雇用やお金の循環を生み出し、安心して暮らし続けられる持続可能な地域を増やすことを目指して構成しています。

- ・講義と実地研修、事例研究を組み合わせた全18回のプログラムを、長野県飯田市を主会場に行う。
- ・講師は、自然エネルギー研究者をはじめ金融・法律関係者、事業者等を迎える。
- ・講義ごと、講師が出題する課題レポートを事前に提出する。
- ・実地研修は、飯田市周辺の事業現場や先進事例を訪問する。
- ・事例研究（演習）は、受講生の事業構想をもとにグループワークで事業計画を作成する。
- ・最終授業は、受講生全員が事業計画を作成して発表する。

※第3期（2020-2022年）は、新型コロナウイルス対策として、感染状況に応じて一部オンライン授業を導入します。詳しくは下記（7）新型コロナウイルス対策及びオンライン授業の注意事項を参照。

(2) 講師

講義カリキュラムの講師予定者は、次の通り。

諸富徹(京都大学大学院地球環境学堂/経済学研究科 教授)

高橋洋(都留文科大学地域社会学科 教授)

竹濱朝美(立命館大学産業社会学部 教授)

東愛子(尚絅学院大学総合人間科学部環境構想学科 准教授)

安田陽(京都大学大学院経済学研究科 特任教授)

木村啓二(公益財団法人自然エネルギー財団 上級研究員)

相川高信(公益財団法人自然エネルギー財団 上級研究員)

荒川忠一(東京大学 名誉教授)

川又孝太郎(環境省環境再生循環局参事官)

竹ヶ原啓介(日本政策投資銀行執行役員産業調査本部副本部長)

千葉恒久(五反田法律事務所弁護士)

ラウパツハ・スミヤヨーク(立命館大学経営学部 教授)

山下英俊(一橋大学大学院経済学研究科 准教授)

中山琢夫(京都大学大学院経済学研究科 特定講師)

榎原友樹(株E-konzal 代表取締役)

※このほか行政、事業者講師を予定しています。第2期生カリキュラム(2018-2020年)を参照

(3) 主会場

飯田市旧飯田測候所(長野県飯田市馬場町3-411)

※実地研修での事業現場の訪問など、他会場で行う場合もあります

※新型コロナウイルスの感染状況に応じて、一部オンライン授業に切り替えて実施します

(4) 開催日程および第1年次授業内容

- ・月1回ペースで全18回授業を開催。
- ・授業は1回につき2日間(土曜PM・日曜AM)。
- ・講義は90分×2コマ。講義と講師・受講生の双方向授業(ディスカッション、質疑応答)で構成。

【授業日程】第1年次(2020年~2021年)

◆第1回 2020年11/14(土)-15(日)

11/14(土)AM オリエンテーション(カリキュラム、授業運営、自己紹介)

11/14(土)PM 入学式

諸富徹(京都大学大学院地球環境学堂/経済学研究科 教授)

講義「再生可能エネルギー総論①」

11/15(日)AM 菅沼利和(おひさま進歩エネルギー(株)代表取締役)

講義①「地域に根差した再生可能エネルギー事業の意義」

海部岳裕(飯田まちづくり電力(株)取締役)

講義②「自然エネルギーで地域を元気に」

◆第2回 2020年12/19(土)-20(日)

12/19(土)PM 高橋洋(都留文科大学社会学科 教授)

講義「再生可能エネルギー総論②」

12/20(日)AM 事業者講師による講義①

藤川まゆみ(NPO法人上田市民エネルギー理事長)

吉田廣子(NPO法人まめってえ鬼無里事務局長)、小田切 奈々子(同事務局)

◆第3回 2020年1/9(土)-1/10(日)

1/9(土)PM 事業者講師による講義②

井上博成(飛騨高山小水力発電株式会社代表取締役)

1/10(日)AM 竹濱朝美(立命館大学産業社会学部 教授)

講義「需給バランスと小売り事業」

- ◆第4回 2021年2/20(土) -21(日)
2/20(土) PM 東愛子(尚絅学院大学総合人間科学部環境構想学科 准教授)
講義「電力市場設計」
2/21(日) AM 事業者講師による講義③
吉川守秋(NPO 法人エコプランふくい事務局長)
- ◆第5回 2021年3/20(土) -21(日)
3/20(土) AM 安田陽(京都大学大学院経済学研究科 特任教授)
講義「大量導入に向けた電力システム工学」
3/21(日) AM 事業者講師による講義④
磯崎 顕三(株式会社エネファント代表取締役)
- ◆第6回 2021年5月
土曜 AM 木村啓二(公益財団法人自然エネルギー財団 上級研究員)
講義「太陽光各論」
日曜 PM 実地研修①
- ◆第7回 2021年6月
土曜 AM 相川高信(公益財団法人自然エネルギー財団 上級研究員)
講義「木質バイオマス各論」
日曜 PM 実地研修②
- ◆第8回 2021年7月
土曜 AM 荒川忠一(東京大学 名誉教授)
講義「風力発電各論」
日曜 PM 実地研修③
- ◆第9回 2021年9月
土曜 AM 講義「小水力発電各論」
日曜 PM 実地研修④

(5) 課題レポート

- ・事前学習として毎回、講師が出題する課題レポートを締切日時までに提出する。
- ・講師がレポート評価を行い、成績通知書を発行する。

(6) 修了証

2年間のカリキュラム修了時、一定の要件を満たした受講生には、飯田自然エネルギー大学を修了したことを証明する「修了証書」を発行する。発行条件は下記の通り。

- ①全18回の授業の出席率が7割以上
 - ②講義前に出題される課題レポートの未提出が2回以下
- ※発行要件を下回っても退学になることはありません

(7) 新型コロナウイルス対策及びオンライン授業の注意事項

本大学は、講師と受講生の対面による双方向の学びの場づくり、自然エネルギー事業現場を訪問する現場主義、自然エネルギーに携わる仲間づくりを重視して、長野県飯田市を主会場に開催してきました。

第3期(2020-2022年)は、新型コロナウイルスの感染防止対策として、各地の感染状況に応じて、一部オンライン授業(リアルタイム配信)に切り替えて実施します。

【オンライン授業への切替え基準】

- ・長野県が発表する新型コロナウイルス対策情報「往来に注意を要する都道府県」(https://twitter.com/Nagano_Corona)を、当面の基準とします。
- ・「往来に注意を要する都道府県」に指定された地域在住の方等は、オンラインの受講へ切替えます。
- ・「往来に注意を要する都道府県」に指定されていない地域の方でも、オンラインの受講を希望する場合は切替え可とします。

【オンライン受講のインターネット環境】

- ・オンライン授業は、動画視聴や大容量データの送受信を行うため、受講生自身でインターネット環境を確保してください。
- ・通信データ量目安は、講義1コマ×90分=0.5GB前後。授業は月1回開催で、講義2コマ×2日間(合計4コマ)構成です。

【授業の開催日程】

- ・新型コロナウイルスの影響により、開校後、予定していた授業日程が変更になる場合があります。変更が生じる場合、受講生に速やかに連絡します。

3、受講料・費用等について

(1) 受講料

1年次(授業9回)につき3万円(各年次の授業開始前に全額納付)

※長野県飯田市及び下伊那郡在住者は、飯田まちづくり電力(株)による受講料補助対象(補助金額1万円)

(2) 交通・宿泊費

受講生が各自負担する。

(3) 課題テキスト

受講生が課題テキストの購入を希望する場合、各自負担する。

【申込み・お問合せ】

一般社団法人飯田自然エネルギー大学

電話 0265-56-3713 / F A X 0265-56-3712

メール support@enedai.jp

担当 伊藤、菅沼